

学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

4月号



大中

心温まる「3年生を送る会」

2月27日、生徒会主催で3年生を送る会が行われました。

吹奏楽部の演奏から始まり、卒業生との思い出のスライドの数々、記念品贈呈と生徒による心のこもった会を大盛況に終えることができました。1・2年生の新応援団がリードしたエール終了直後、「ちょっと待った！」と3年生の応援団長の一声でエールを切り返す一幕もあり、心がとても温かくなりました。



大小

自分の命を守ることができる子に

3月11日、体育館で東日本大震災追悼式を行いました。

自分の命は自分で守る子になるため、今年度は当時石巻市立門脇小学校の校長だった鈴木洋子さんから、震災時の石巻市や学校、避難時のようすや命を守るために大切なことについてお話をいただきました。その後、全員で黙祷を行い、震災で亡くなられたすべてのかたに弔意を表しました。



金中

第68回卒業式 感動を胸に未来を築こう

3月7日、大勢の来賓や保護者に見守られ、卒業式を行いました。

厳粛な空気のなか、卒業生25人一人ひとりが、校長から卒業証書を受け取りました。送辞、答辞、卒業合唱と式が進むにつれ、感動が高まり、会場のあちこちで涙がこぼれていました。

金中を巣立っていく卒業生が、この日の感動を胸に、それぞれの持ち味を生かしながら、力強く未来を築いていくことを心から願っています。



南小

学校ボランティアさんへ感謝の会

この1年間、南小児童が交通安全や防犯、読み聞かせ、図書など、さまざまな場面でお世話になった地域の学校ボランティアさんへの感謝の会を開催しました。

会では児童代表の御礼の言葉に続いて、現在各学年で取り組んでいる暗唱を披露し感謝の気持ちを伝えました。学校ボランティアの皆さんこれからもどうぞよろしくお祈りします。



金小

朝の読み聞かせボランティア

金小では、月2回のペースで、ボランティアのかたによる朝の読み聞かせを行っています。

3月13日は今年度の最終回ということで、ポプラホールに全校児童が集合し、本をスクリーンに大きく映して読み聞かせをしていただきました。10人のボランティアの皆さん、一年間本当にありがとうございました。

学び舎を去る卒業生と後を託された在校生。寂しい雰囲気もつかの間、すぐに元気な新入生が入学してきます。

旅立ちと新たな出会いの季節

「おおがわらの先人集」
町教育委員会では、大河原にゆかりのある先人を取り上げた教育資料「おおがわらの先人集」を作成中です。

わが町には、一目千本校の生みの親「高山治郎」や白石川に開運橋「現尾形橋」を架け町の発展に尽力した「尾形安平」、全国の短歌愛好家から今でも愛されている歌人「佐藤佐太郎」など、すばらしい先人が数多くいます。児童生徒が、その生きざまや考えかたを学ぶことで、生きるこの意味や価値を見いだし、将来への夢や志を持つ一つのきっかけにしてほしいという願いを込めながら、町内学校の教職員が原稿を執筆してきました。

この資料では、ほかに松山京子、庄司一郎、村井江三、大泉孝、高橋与右衛門、田中實、三宅義信・義行、佐藤源三郎、尾形龜之助、山家幸内、太田麻之助、山家竹石(敬称略・順不同)など19人の業績もまとめています。

「おおがわらの先人集」を通して、児童生徒が大河原に生まれ育ったことに誇りを持ち、志をさらに高め、世の中に巣立ってほしいと願っています。

町教育総務課
☎531-2742

小学校入学前に2回目の予防接種を受けましょう！

麻しん・風しんは、それぞれのウイルスを口や鼻などから吸い込むことで感染する病気です。うつりやすい病気で、1人がかかると、家族や周りの人たちに広がってしまうこともあります。

自分だけでなく、周りの人に感染を広げないためにも予防接種は有効です。

〈麻しん・風しん予防接種は2回必要です〉

- ◆第1期▽1歳
- ◆第2期▽小学校就学前の1年間

〈2回接種が必要な理由〉

- ①1回の接種で免疫がつかなかった子どもたち(数%程度存在すると考えられます)に免疫を与えます。
- ②1回の接種で免疫がついたにもかかわらず、その後の時間の経過とともにその免疫が減衰した子どもたちに再び刺激を与え、免疫を強固なものにします。
- ③1回目に接種できなかった場合でも接種を受けるチャンスとなります。

平成27年度の第2期対象者(平成21年4月2日から平成22年4月1日に生まれたかた)には、無料で受けられる予防票を送付しています。早めの接種をおすすめします。

町健康福祉課保健予防係 ☎531-2115



やったね!

3歳6か月児健診(3/5)の結果より

虫歯ゼロ